

# 『真宗本廟（東本願寺）造営史—本願を受け継ぐ人びと—』

（東本願寺出版部）

ISBN-10: 4834104346 ISBN-13: 978-4834104349

## 【本書について】

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念事業の一環として、2006（平成18）年、真宗大谷派（東本願寺）からの業務委託を受け、大谷大学真宗総合研究所真宗本廟（東本願寺）造営史研究班（チーフ・木場明志教授）が行ってきた調査・研究の成果が、このたび『真宗本廟（東本願寺）造営史—本願を受け継ぐ人びと—』として刊行されました。

真宗本廟（東本願寺）は、教如上人（第11代）が徳川家康より寺地の寄進を受けて以来、現在にいたるまで烏丸六条の地にあり、多くのご門徒を迎え入れる帰依処として、護持され、受け継がれてきました。しかし今日に至るまでの真宗本廟のあゆみは決して平坦なものではありませんでした。とりわけ、江戸時代をつうじて、4度も罹災した火災による焼失は、想像を絶する困難であったと言っても過言ではありません。そうした大変な困難を乗り越え、現在見る大伽藍を受け継いできたのは、名も知られていない数多の門徒の志と、尽力にほかなりません。

研究班では、真宗本廟（東本願寺）に所蔵される多大な資料の調査をおこなうとともに、建築・美術・文献など諸分野の専門家による研究を進め、真宗門徒の帰依処である真宗本廟の意義を追究することに努めてきました。そのような研究の成果をまとめた本書には、本願寺の草創期にあたる廟堂時代から、吉崎・山科・大坂（石山）・天満・堀川七条（西本願寺）、そして真宗本廟（東本願寺）成立にいたるまでの前史と、それ以後、火災を含めさまざまな困難に見舞われながらも、そのつど、再建・相続されてきた歴史を、おもに建築史学・文献史学の立場から叙述しています。また、これまで紹介されていなかった図面や、記録などの資料も、多く紹介されています。

## 【目次】

緒言 真宗大谷派 第二十五代門首 大谷 暢顯

刊行の辞 真宗大谷派 宗務総長 安原 晃

真宗本廟とは 大谷大学学長 草野 顕之

『真宗本廟（東本願寺）造営史 一本願を受け継ぐ人びと一』編述の意義

## 本編

### I 真宗本廟建築の信仰空間

信仰と技術が織りなす京の大伽藍 一その歴史的・建築論的考察一 伊藤 延男

東本願寺建築の系譜 川上 貢

歴史上の東本願寺の大工棟梁 永井 規男

御坊格寺院本堂の建築的構成と工匠 一その平面と空間・意匠一 櫻井 敏雄

真宗本堂の信仰空間 山岸 常人

内陣を荘厳する美術絵画 畠中 光享

### II 東本願寺創建以前

プロローグ一真宗本廟のはじまり一

山科本願寺の時代 草野 顕之

大坂本願寺の隆盛 安藤 弥

本願寺の流転と天満本願寺 川端 泰幸

本願寺の京都帰還 大桑 齊

### III 真宗本廟の造営（通史）

第1部 真宗本廟（東本願寺）造営

第1章 東本願寺の創建

第1節 教如の東本願寺創建

第2節 江戸時代初期の東本願寺教団

第3節 創建時東本願寺の建築

第2章 大建築への建て替え

第1節 宣如による建て替え

第2節 明暦度造営の御影堂

第3章 天明大火による焼失と再建

第1節 京都大火による焼失

第2節 乗如・達如と寛政度再建

第3節 寛政度再建の成就とその後

第4節 地方門徒の信仰・組織・運動

第5節 寛政度再建の御影堂

第4章 山内失火と再々建

第1節 二度の仮両堂建立

第2節 本建両堂と大門の再建

- 第3節 定格となった建築規模
- 第5章 たび重なる焼失と急造再建
  - 第1節 安政の焼失と再建
  - 第2節 親鸞六百回忌を目前に
  - 第3節 急造の仮建築
- 第6章 幕末兵火による罹災
  - 第1節 禁門の変による焼失
  - 第2節 朝廷・幕府との複雑な関係
- 第7章 仮堂の経営
  - 第1節 仮堂の経営
- 第2部 明治度再建の道すじ
  - 第1章 宗制機構の変動と信仰の維持
    - 第1節 維新と東本願寺
    - 第2節 宗制機構の変動と信仰の維持
  - 第2章 再建着手と資材の調達
    - 第1節 巖如の再建発示と再建事務組織
    - 第2節 基本計画と棟梁伊藤平左衛門
    - 第3節 材木の調達
    - 第4節 瓦の寄進
    - 第5節 石材の調達
  - 第3章 造営作事の進捗と竣工
    - 第1節 木工事の進展
    - 第2節 式典の壮観
  - 第4章 近代的な付帯施設
    - 第1節 本願寺水道と防災設備
- 第3部 門徒の尽力 ―地域の記録―
  - 第1章 遺弟の念力
    - 第1節 本山と門徒
    - 第2節 遺弟の念力
    - 第3節 富山県刀利村からの献木
    - 第4節 尾神嶽殉難
    - 第5節 新潟木揚場教会と一番虹梁
    - 第6節 さまざまな寄進記録
    - 第7節 御影巡回
  - 第2章 示談方・諸国詰合の役割と相続講のはじまり
    - 第1節 本山門前の詰所
    - 第2節 相続講の設立と地域の本山護持講
- 第4部 明治度再建から現在へ
  - 第1章 明治度再建の完成
    - 第1節 真宗本廟の整備
    - 第2節 明治度再建御影堂の建築技術的特色

第2章 本願を受け継ぐ人びと ―真宗本廟の将来―

第1節 明治度再建以後の教団のあゆみ

第2節 御影堂平成大修復のあゆみ

**資料編**

**I 絵図・指図編**

**II 文献資料編**

**【執筆者一覧】**

安藤 弥 (あんど う わたる)

同朋大学准教授

伊藤 延男 (いとう のぶお)

神戸芸術工科大学名誉教授

江上 琢成 (えがみ たくじょう)

慶應義塾大学在学

大桑 斉 (おおくわ ひとし)

大谷大学名誉教授

大畑 博嗣 (おおはた ひろつぐ)

大谷大学研修員

加藤 享子 (かとう きょうこ)

富山民俗の会会員

蒲池 勢至 (がまいけ せいし)

同朋大学非常勤講師

川上 貢 (かわかみ みつぐ)

京都大学名誉教授

川端 泰幸 (かわばた やすゆき)

大谷大学任期制講師

岸 泰子 (きし やすこ)

九州大学大学院准教授

木場 明志 (きば あけし)

大谷大学教授

草野 顕之 (くさの けんし)

大谷大学学長

工藤 克洋 (くどう かつひろ)

大谷大学任期制助教

櫻井 敏雄 (さくらい としお)

近畿大学名誉教授

鈴木 善幸 (すずき よしゆき)

大谷大学事務職員

近松 誉 (ちかまつ ただし)

真宗大谷派宗務所総務部次長

登谷 伸宏 (とや のぶひろ)

京都大学研修員

永井 規男 (ながい のりお)

関西大学名誉教授

延澤 栄賢 (のべさわ よしやす)

真宗大谷派宗務所総務部主事

畠中 光享 (はたなか こうきょう)

大谷大学非常勤講師

平野 寿則 (ひらの としのり)

大谷大学准教授

松金 直美 (まつかね なおみ)

大谷大学非常勤講師

山岸 常人 (やまぎし つねと)

京都大学大学院准教授

山本 琢 (やまもと たく)

中岡慎太郎館勤務

(五十音順 敬称略)